

宮城県感染症発生動向調査情報(第23週)

宮城県【平成27年06月11日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

- 2015.6.1 ~ 6.7 ・ 第23週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							仙台市	宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第20週	第21週	第22週	第23週
水痘	1 0.20	1 0.10	3 0.60		6 2.00		3 1.50	22 0.81	36 0.61	868	○→	○→	○→	○
流行性耳下腺炎			1 0.20	1 0.50	2 0.67		1 0.50	10 0.37	15 0.25	176	→	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	64 12.80	41 4.10	20 4.00	23 11.50	16 5.33	11 2.20	12 6.00	228 8.44	415 7.03	11,522	◎→	◎→	◎→	○
手足口病	8 1.60	16 1.60	3 0.60			6 1.20		33 1.22	66 1.12	464	○→	○→	○→	○
伝染性紅斑	2 0.40	5 0.50	5 1.00		5 1.67	6 1.20	5 2.50	16 0.59	44 0.75	1,140	○→	○→	○→	○
突発性発しん	4 0.80	7 0.70	8 1.60		2 0.67	3 0.60	2 1.00	16 0.59	42 0.71	782	○→	○→	○→	○
ヘルパンギーナ		1 0.10				2 0.40		3 0.11	6 0.10	29	→	→	→	
インフルエンザ	15 1.88		1 0.13			6 0.75		2 0.05	24 0.25	19,558	○→	○→	◎→	レ
咽頭結膜熱	11 2.20	9 0.90	1 0.20	3 1.50	1 0.33	23 4.60		14 0.52	62 1.05	500	→	○→	◎→	◎
流行性角結膜炎						1 1.00			1 0.08	66	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	32 6.40	25 2.50	6 1.20	6 3.00	4 1.33	30 6.00	1 0.50	123 4.56	227 3.85	3,506	◎→	◎→	◎→	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎					1 1.00	1 1.00	3 3.00	3 0.60	8 0.67	159	→	→	→	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症								1 0.04	1 0.02	336	→	→	→	
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	3	2	1	1	1		2	4	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向				
	川崎病								1					
	不明発疹症								6	宮城県保健環境センターのホームページ http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansen-center.html				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)※										76				

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢群別割合)

報告週	年齢群	0~4歳 (%)	5~9歳 (%)	10~14歳 (%)	15~19歳 (%)	20~29歳 (%)	30~39歳 (%)	40~49歳 (%)	50~59歳 (%)	60~69歳 (%)	70~79歳 (%)	80歳~ (%)	総数 (人)
2015年 第21週		17.2	32.8	25.9	12.1	3.4	3.4	1.7	3.4	0.0	0.0	0.0	58
第22週		19.5	44.2	14.3	9.1	0.0	1.3	9.1	0.0	2.6	0.0	0.0	77
第23週		41.7	25.0	16.7	0.0	0.0	0.0	4.2	8.3	4.2	0.0	0.0	24

インフルエンザ定点

小児科定点と内科定点を合わせたもので、県全体で95定点です。

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第21週) (国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第17週以降減少が続いている。都道府県別では沖縄県(3.57)、山形県(2.40)、岩手県(1.57)が多い。**RSウイルス感染症**: 報告数は321例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約74%を占めている。**咽頭結膜熱**: 定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では新潟県(1.68)、宮崎県(1.36)、宮城県(1.14)が多い。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**: 定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では鳥取県(7.63)、鹿児島県(5.35)、山形県(5.17)が多い。**感染性胃腸炎**: 定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では山形県(15.17)、大分県(14.86)、宮崎県(13.69)が多い。**手足口病**: 定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では徳島県(8.13)、鳥取県(5.79)、香川県(5.61)が多い。**伝染性紅斑**: 定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では滋賀県(2.03)、福島県(1.96)、埼玉県(1.59)が多い。**マイコプラズマ肺炎**: 定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では富山県(1.40)、高知県(1.00)、宮城県(0.92)が多い。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)**の定点当たり報告数は減少した。33都道府県から163例報告があり、年齢別では0歳(13例)、1~4歳(119例)、5~9歳(26例)、10代(4例)、70歳以上(1例)であった。

* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。()内数字: 定点当たり報告数

今週の全数報告疾病

1類感染症: 報告なし
2類感染症: 結核
3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O26)
4類感染症: レジオネラ症
5類感染症: カルバペネム耐性腸内細菌感染症
後天性免疫不全症候群

※男児、女児は6歳未満

仙南管内 女性1名
大崎管内 男性1名(第22週)
登米管内 男性1名
仙台管内 男性1名、女性2名
仙台管内 男児*1名
腸管出血性大腸菌感染症(O8)
仙台管内 女性1名
気仙沼管内 男性1名
仙台管内 男性1名
仙台管内 男性1名

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 1例

今週の感染症のコメント — 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

[伝染性紅斑]
気仙沼管内で警報継続中。
[咽頭結膜熱]
石巻管内で警報継続中。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

感染性胃腸炎患者より	塩釜管内	第21週採取分	サポウイルス	2件
咽頭結膜熱患者より	石巻管内	第22週採取分	アデノウイルス	1件
		第23週採取分	アデノウイルス	1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定			中 間 報 告		
	第20週採取分 (5.11~5.17)	第21週採取分 (5.18~5.24)	第22週採取分 (5.25~5.31)	第20週採取分 (5.11~5.17)	第21週採取分 (5.18~5.24)	第22週採取分 (5.25~5.31)
RSウイルス	1件	0件	2件			
アデノウイルス	3件	1件	0件			
エンテロウイルス	1件	0件	0件			
ライノウイルス	0件	1件	1件			
単純ヘルペスウイルス	0件	1件	0件			
パラインフルエンザウイルス4型	1件	2件	2件			
ヒトメタニューモウイルス	1件	2件	0件			

[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]

高熱・咽頭痛・嘔吐を主症状とするA群レンサ球菌による上気道感染症で、春から夏にかけてと冬季の2つの時期をピークとして流行がみられます。特に学童期の小児に多く、学校や家庭などの集団での感染もみられます。県内でも今週、仙台管内において患者数の増加傾向がみられました。今後の動向に注意が必要です。